

灯



4月も下旬、学園は新入生が入って新鮮で活気ある元気な様相を呈している。昭和学園は大学進学のほか各種の公的な資格を取るコースがあるのが大きな特色で、先月末大變うれしい結果が届いた。

まず製菓衛生師

試験の発表があり、2年連続の全員合格を果たした
達成
（大分県平均合格
冠
率77%）。次いで看
三
護師国家試験の発
表があり、これま



草野 義輔

の快挙である。介護福祉士については昨年末に厚生労働省を訪れた際、担当課長から「94・7%の合格率（昨年）は見事というほかありません」とお褒めの言葉を頂いたが、今年はそのをも上回った。国県の平均合格率を見ると、実に素晴らしい結果だと思ふ。地域で唯一正規の資格が取れる

学園として全国
トップレベルの
責務を果たすこ
とができたと思
負している。

決して成績優
秀な生徒ばかり
が入学している

た全員合格（全国平均合格率90%）。さらに2日後は介護福祉士国家試験の発表で、実は今年が新カリキュラム最初の試験なので一番心配していたが、ふたを開けてみると何とこれも全員合格（同64%）。
三つの資格試験を完全制覇したのは学園にとって初めて

わけではない。生徒を叱咤激励しながら資格取得へのモチベーションをしっかりと持続させてきた教職員の方の結晶であり、何より入学当初からの目標を達成した生徒諸君の頑張りから拍手を送りたい。（昭和学園高校理事長

・日田市）